

部局名	消防本部	所属名	指令課	所属長名	椎名 次夫	電話	459-7805
-----	------	-----	-----	------	-------	----	----------

## 1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	4045	事務事業名称	指令管理事業	短縮コード	経常	4045	臨時	4093				
予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費
区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	消防法, 消防組織法。								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
(1) 消防緊急通信指令施設で、災害時における車両の出動体制を自動化し、情報収集等の迅速化を図るために開始する。 (2) 平成18年度に組織改正され警防課で実施していた警防管理事業の一部を専門的に指令課が引継いだものである。 (3) 位置情報通知システム（統合型）の導入については、今まで通報場所の特定に効果をあげてきた新発信地表示システムと携帯電話・IP電話の位置情報システムは、2つのシステムを必要とすることから指令装置が複雑化するなどが懸念されていたため、国の「新発信地表示システムと位置情報通知システムの統合のあり方に関する検討会」で、検討・協議が行われた結果、統合型を導入することとなる。 (4) 消防救急無線のデジタル化については、通信分野の急激な発展と新たな電波ニーズの出現で、電波の有効利用が求められる中、通信の秘匿性の向上及びデータ通信等の高機能化による消防救急活動の高度化の観点から、「電波法関係審査基準」が改正されアナログ方式からデジタル方式に移行（デジタル化）することとなる。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	04	第4章安心安全都市をめざして					
(1) 年々増加する救急出動要請及び複雑多様化する災害。 (2) 携帯電話119番通報増加による場所特定の困難性。 (3) 千葉県と共同で整備する消防救急無線の広域化及び共同化については、平成17年9月に協議会、作業部会を設置し協議・検討を行い策定された本整備計画に基づき平成25年4月から運用開始した。 (4) 消防指令業務の共同化については、平成32年度に千葉北西部指令センターに第2期として参加する予定のため平成25年度から調査・研究に入る。					大項目（節）	02	第2節市民の安全					
					中項目	02	2. 消防					
					小項目（施策）	02	(2) 消防体制の充実					
					細項目	03	③通信体制の整備					
					実施計画の計画事業	4049	消防救急無線の広域化及び共同化整備事業					
				計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円

## 2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	火災・救急・救助・その他の災害。						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： (1) 自動出動指定装置・地図等検索装置・発信地表示システム装置・メール119受信システム等の活用。 (2) 高機能消防指令センター保守点検委託。 (3) 無線装置デジタル化に伴う指令装置改修委託及び消防救急デジタル無線機購入。  ※平成25年度に計画していること： (1) 自動出動指定装置・地図等検索装置・発信地表示システム装置・メール119受信システム等の活用。 (2) 高機能消防指令センター保守点検委託。 (3) 消防指令業務の共同化について、調査・研究に入る。						
意図 （何を狙っているのか）	災害事案入電時にシステムコンピュータで統括管理し、各種災害に迅速、的確に対応する。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区分	単位	23年度	24年度		25年度		
		実績	計画	実績	計画		
対象指標	指標1	119番受理状況	件	11,874	12,000	12,010	13,000
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	火災件数	件	55	75	46	75
	指標2	救急出場件数	件	8,061	8,100	8,295	8,300
	指標3	救助及びその他の災害	件	986	1,000	724	800
成果指標	指標1	火災現場への平均到着時間	分	9	5.5	8.8	5.5
	指標2	救急現場への平均到着時間	分	8.7	8.1	8.9	8.2
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	4045	事務事業名称	指令管理事業		所属名	指令課	
	単位	23年度		24年度		25年度	
		実績	計画	実績	計画	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円		37,528	34,650	
		県	千円				
		地方債	千円	36,500	105,700	59,900	
		一般財源	千円	43,831	39,879	34,845	37,788
		その他	千円	29,155	30,983	59,386	
主な事業費の内訳		高機能消防指令センター通信運搬費9,348千円・高機能消防指令センター保守委託14,678千円・位置情報受信及び表示システム改修委託9,030千円・無線設備の整備に関する負担金69,985千円		高機能消防指令センター通信運搬費9,777千円・高機能消防指令センター保守委託14,059千円・無線設備の整備に関する負担金68,745千円・デジタル化に伴う指令装置改修委託46,305千円・消防救急デジタル無線購入66,306千円		高機能消防指令センター通信運搬費9,430千円・高機能消防指令センター保守委託14,059千円・無線設備の整備に関する負担金52,607千円・デジタル化に伴う指令装置改修委託46,200千円・消防救急デジタル無線購入57,750千円	
人件費 (B)		千円	150,841.2	148,791.7	144,926.3	144,926.3	
トータルコスト (A)+(B)		千円	260,327.2	362,881.7	333,707.3	182,714.3	

### 3. 事務事業の評価 (SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結び付いている	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
		<input type="checkbox"/> 達成していない				
		<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項				
		③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)				
<input type="checkbox"/> 可能性はない						
<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項						
目的妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項				
		有効性・効率性				
<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある						
<input checked="" type="checkbox"/> 両方可能性はある						
<input type="checkbox"/> 可能性がない						
有効性・効率性	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似事務事業名称	1		実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し				
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し				
		<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し				
		<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の方法				
有効性・効率性	⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある				
		<input checked="" type="checkbox"/> ない				

コード	4045	事務事業名称	指令管理事業			所属名	指令課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続			八千代市が消防指令業務の共同運用に参加する時期は平成32年度から参加予定であり、平成25年度から消防指令業務の共同運用等についての調査・研究に入る。																					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	平成32年度に消防指令業務の共同化に参加するまでの間、高機能消防指令センターの機器の維持管理上、部分的に更新しなければならないことから、経費の増加が予想される。 成果については、消防指令業務の共同運用により、住民サービスの向上や行財政上の効果が図れる。
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																							
	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
特になし。	

所属長コメント	<p>年々増加する災害の入電件数に対して、高機能消防指令センターを適正に維持管理することで、対応している。平成25年4月に運用を開始した千葉県消防救急無線の広域化・共同化は、県域全体に無線網を整備したことで、大規模災害や広域的な災害に対する通信基盤が確保され、消防救急無線をデジタル化したことで、個人情報秘匿性及びデータ通信が可能となった。また、消防指令業務の共同化については、千葉県の北東部・南部の20消防本部がちば消防共同指令センター（千葉市消防局）で、北西部は6市（松戸市・浦安市・市川市・流山市・野田市・鎌ヶ谷市）が千葉北西部消防指令センター（松戸市消防局）で運用開始し、八千代市は北西部の第2期として平成32年度から参加するため、平成25年度から調査・研究に入ります。</p>		
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	千葉北西部共同指令センターの32年度の参加に向け、通信設備機器の耐用年数等を考慮し協議を進めるとともに調査・研究を図ること。	